



農大二中進路通信

令和5年6月1日(木)
第7号 農二進路指導部

中間テストが終わりました!



5月24日と25日、2日間にわたる中間テストが終わりました。初めてのテストに緊張をしながらもベストを尽くせた様子でした。ただ、その中でも「勉強が足りなかった」、「こうすればよかった、ああすればよかった」とテストの結果を振り返りながら感じていることでしょう。「過去は変えられないが、未来は変えられる」と先日の親子ガイダンスの講師が話しておりました。結果は結果として受けとめて、今度どうすればよいかを考えながら、行動に移していってほしいものです。また、平均点より上だとか下だとか関係ありません。全員がある一定のレベルまでいくことが目標ですから、他の生徒よりできようができなからうが自分ができないのなら意味がありません。follow up 等を利用して、抜けもれをなくしていきましょう。そして、どんどん先生を使ってください。質問は歓迎です。以下は、テストを終えての生徒たちの感想です。

- ・理科はボロボロだったが、国語は予想を上回ってくれたので良かったし、嬉しかった。理科はあまり積極的に勉強していなかった気がするので、期末ではこうならないように幾何と並べてやっていきたい。
- ・中間テストの全体的な復習を中心的にしました。答え合わせしていくごとに気分が下がっていきます↓。まあ、終わったことは仕方がないので、気持ちを切り替えて勉強に取り組んでいきたいと思います。
- ・代数はあまり良い点数ではなくて、思ったより取れませんでした。でも、英語では平均点より上になりました。でも、どの教科もまだまだ勉強が足りないなと感じました。なので期末では頑張りたいです。
- ・代数は思ったよりもできていなくて悔しかった。しっかりと復習をして、期末に向けて頑張っていきたい。また、明日のフォローアップを頑張りたい。社会は、結構難しかったけど意外とできていて良かった。英語は、単語や文法・アクセントなどほとんどがケアレスミスで悔しかった。期末に向けてしっかりと復習をして頑張りたい。
- ・今日は代数が返されたのですが、とても点数が低かったです。しかし、やり直しをしてみたら符号ミスや単位ミスなどがあり、やればできる問題も中にはあったので、ミスをなくしていきけるように頑張ります。

多くの中学生はテスト前にはしっかり復習をしますが、テストが終わると復習がおろそかになりがちです。実際に classi でも先週のテストが終わった後から勉強時間が急激に減りました。確かにテストから解放されて、勉強からも解放されたい気持ちはわかりますが、このタイミングが実はできるようになる生徒かできなくなる生徒になるかの分かれ目です。成績をグッと上げるには「勉強の中でつまづいている部分」を重点的に復習して克服するのが有効です。その「勉強の中でつまづいている部分」が最もわかりやすいのが、テストの答案結果なのです。テストが返ってきたら、まずはどの問題を間違えたのかを振り返り、分析しましょう。具体的な方法は次のページに記しておきます。

中間テストが終わった後が大事

中間テストが返ってきましたが、今回の結果を次回に生かすために何をすべきか？4月の初めに配られた進路サポートの学習ガイドに定期テストの結果をどう次に生かすべきなのかが書かれておりました。以下の記事を参考にしてください。「勝って次の負けの因を作るか」、「負けて次の勝ちの因を作るか」は君たち次第です！！

結果を次回に生かす答案の振り返り方

「もったいない答案の振り返り方」そのパターンと対策



パターン①
点数だけを見て
いる

パターン②
間違えた原因を
把握していない

パターン③
間違えたところ
を復習しない

パターン④
正解したところ
は振り返らない

対策①

対策②

対策③

対策④

答案には実力を伸ばす
ヒントがいっぱい

テストが終わると、前のことはすべて終わったような気になるものである。しかしテストは、一回で完結するものではない。この先の高校・大学まで続く長い道のりの通過点の一つであり、そのときで確実に理解しておきたい内容が出題されるものなのだ。だから、答案を見れば自分の理解が足りないところがわかるし、間違えた原因を分析することで、学習法の弱点や苦手の芽も見出せるのだ。

このように、返却された答案には、実力を伸ばすヒントがいっぱい詰まっている。点数に一喜一憂して終わりにしてしまうのはもったいない。ヒントを大いに利用して、自分の学習法を見直していこう。

対策①

点数に振り回されず、中身をしっかりと振り返る



テストの点数がよくても悪くても、そのこと自体はたいした問題ではない。大切なのは、今回の結果を明日からの学習や、次のテストに生かせるかということである。

対策②

間違えた原因を分析し、学習法を考え直す



間違えたのが「理解不足」によるものなら、まとめ方や問題演習の量に、「勘違い・書き間違い」によるものなら、見直し方によって問題があったと考えられる。さっそく明日の授業から、「ノートのとおり方を工夫する」、次のテスト準備から、「問題演習の時間を増やす」、「見直し方を強化する」などの対策を実行しよう。

対策③

疑問がなくなるまで、とことん復習する



定期テストには、「これがわかればここまでの学習は身についている」ということを確認するため、重要問題が出題されている。間違えたということでは、理解できていない証拠だ。間違えたところは必ず教科書に戻って復習し、わからないところがあつたら先生に質問するなどして、疑問点を完全に解消しよう。

対策④

正解にひそむ、まぐれやあいまいをなくしていく



正解した問題の中には、本当はきちんと理解できていないのにまぐれで正解というものもある。今回は運よく得点できたけれど、このまま放っておくと、別のテストでつまづいてしまうことは間違いない。正解した問題も振り返って、そんな「隠れ不正解」を見極めよう。そしてきちんと復習し、理解できるようにしよう。

答案の振り返りから次のテスト準備が始まる

答案の振り返りでは、どこを間違えたのかだけでなく、それは「理解不足」なのか、「問題演習量不足」なのか、「ケアレスミス」なのか、原因も見極めよう。

原因がわかつたら、その対策を考える。例えば、明日から授業でわかりやすくノートをとるとか、次のテスト準備では問題演習にもっと時間をかけるとか、解答の見直しはポイントを絞って行うというふうにする。つまり、答案を振り返る瞬間から、これからの学習を改善し、次のテストでさらに伸びるための準備が始まっているのだ。

テストのたびにこの作業を繰り返していくことで、きみの実力は確実に上がっていくだろう。

また、答案は計画表と一緒に保管しておき、次のテストの計画を立てるときにもう一度見直そう。「実力を伸ばすヒント」を忘れず計画に生かすことができるので、さらに有効だ。



親子進路ガイダンス

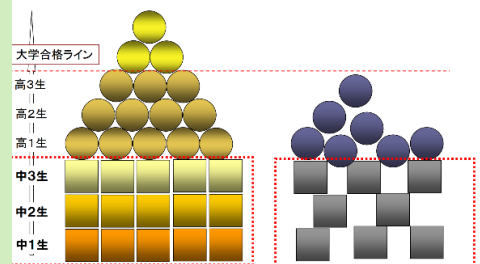
5月24日(水)に(株)ベネッセコーポレーションより相良大介先生をお迎えして中等部1年生を対象にした親子進路ガイダンスを実施しました。講演では4月初旬に実施された学力推移調査の結果を踏まえ、6年間の継続した段階的な学習の進め方や1学年次における学習の仕方についてお話をしていただきました。生徒95名+保護者80名を超える多くの参加がありました。ガイダンスの中では、学習時間をとにかく今の時期から3時間以上とること、目的や目標を持った生徒の方が今後の成績の伸び幅が大きいこと、そして、基礎学力をつけるのは中学生の今の時期であり、これが後々の応用力へとつながっていくこと、また、記憶を長期記憶にするためにはどうしたらよいかなど、先を見据えたお話から、今生徒たちが直面している勉強法などについて詳しくお話をしていただきました。講演終了後には生徒、そして、保護者の皆様より積極的に質問がされ、多くの参加者にとって、とても有意義なガイダンスであったと感じました。6年間を見据え、自分なりに学習スタイルを確立し、自分の夢に向かって走って行ってほしいと思います。以下は生徒からの感想です。



- ・今日はガイダンスを聴きました。もっと勉強時間を増やさなければと思いました。今の学習時間の平均が2時間48分だったので、あと30分ぐらい伸ばせるように頑張りたいです。
- ・親子ガイダンスを聞いてこれからの勉強をどうやっていくといいかわかった。自分はしっかり時間を決めて集中して勉強することをしっかりルーティンにできるようにしたい。
- ・復習、予習の大切さ学びました。また、学力を伸ばすためには学習の量と質を良くする必要があると知りました。私は毎日三時間以上の勉強がまだできていないので、少しずつ勉強時間を増やしていき、習慣化させていきたいです。
- ・僕は話の中にあつた「一週間で26時間勉強」と「エビングハウスの忘却曲線」が印象に残りました。僕は平日に3時間勉強することが、習慣付けられていないのでとても参考になりました。これからは勉強する時間帯を具体的に設定したいと思います。また勉強から脱線しないように、勉強の妨げになるものは勉強机に置かない事が大切だと分かりました。実践してみたいと思います。そして勉強で覚えたことを頭に定着させるように復習を忘れないようにしたいと思います。

基礎学力の重要性

基礎基本がないと応用力が身に付きません！
基礎基本の徹底が重要です！！



最後にC組の代表生徒の謝辞の中では「日々の学習習慣をつけることの大切を知ったので毎日3時間の勉強をするようにし、復習を大事にしていきたい」と思いを語ってくれました。一人一人の学習の姿勢の変化を期待します。がんばれ、農二中生！